

宮	陵
会	報

KYU-RYO

2002 No.75

発行責任者
 社団法人 宮 陵 会
 広報委員会
 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 印刷所 榊江森印刷所

会費の払込みについて
 直接社団法人宮陵会事務局宛に
 送金くださるか、または、振替貯金
 口座 (横浜 00260 - 6 - 9751) にお
 振込みください。その際卒業年月・
 学科をかならずご記入ください。
 現住所等の変更連絡について
 現住所・勤務先等に変更があつ
 た場合は、社団法人宮陵会事務局
 宛にご通知ください。



2002
 Winter

再開発事業により
 生まれ変わった
 横浜キャンパス。
 ドラマの収録にも
 使用されることが多い。



毎年恒例の
 湘南ひらつかキャンパス
 61号館前の
 イルミネーション。
 美しい光彩に心も温まる。

平成十四年度

全国支部長会議開催される

十月十九日

議題「宮陵会活動の発展の道」——組織の拡大と各支部活動の活性化——

平成十四年度全国支部長会議は、横浜キヤンパス再開発事業計画で最後に完成した、新二号館で開催された。大学から理事長、学長、事務局長、後援会長をお迎えし、全国各地から地域・職域・同期・同好の七十九支部の代表と本部役員等合わせて百二十名が出席した。

定刻、秋田専務理事の開会宣言の後、渡辺徳平会長が挨拶に立ち、「本日は遠隔地からも多数ご出席を頂き、日頃は指導的な立場でご活躍をいただきながら支部のためにご尽力をいただいていることに、宮陵会を代表して厚くお礼を申し上げます。各支部から各々の意見をお伺いするために、分科会方式で行い、各分科会では日頃の支部の現況や問題点について話し合ってもらい、これからの支部運営活性化の糧として頂きたい。」と挨拶された。

続いて、武笠専務理事から、本年度の事業計画、並びに定款検討小委員会と財政検討委員会の中間報告について、次の様に報告された。

定款検討小委員会の中間報告について
中間法人法が成立し、平成十四年四月一日に施行された。「公益法人から中間法人への組織変更」の関係が削除された。公益法人の見直しについての今後の政策の

見直しは不透明である。

右記の結果から、本社団法人を中間法人へ移行することはできなくなり、解散して新たに申請する方法しかない、とすれば、そのメリットは全くないと思われる。したがって、現社団法人のまま存続する。あるいは、現定款の不備な点については、改正する方法で検討する。

社団法人としての法的な問題、また親睦を中心とする同窓会活動と、公益を目的とする社団法人とは性格の異なる点もある。定款改正ができるならば、整合性が取れるような方向で検討する。

財政検討委員会の中間報告について

宮陵会財政推計(平成二十年までのシミュレーション)によれば、平成十六年度から宮陵会の財政は赤字になる予測である。会費は、昭和五十九年の全面改正から据置きのままである。

この十数年、準会員事業は予算上継続のままであり、その拡大が望まれている。支部の助成費については、他大学の調査からみても見直す必要がある。

高齢者の会費については、そのあり方(減額または免除等)について検討する必要がある。

終身会員制度については、過去の経緯もあるが、見直す必要がある(停止または

変更)。

以上の視点から会費を値上げする方法で検討する。また、終身会費の停止または制度の撤廃を検討する。

以上の骨子について補足し、現理事会が取り組んでいる現況が報告された。

この後、打田一夫組織委員長より、本日の議題に基づき、各支部のアンケート(調査表)について、また、会議方式・班別(地区等)分科会方式の討論を行う旨の説明があった。その後、班別分科会にわかれて、本部役員を進行役に、自由な意見交換が行われた。短い時間であったが、各支部とも熱心に活発に意見交換が行われて、各班(六班)の討議をとりまとめ、書記役から各支部活動の現状、今後の活性化に向けての問題点や方向性が報告された。

会議終了後、来賓挨拶に移り、任期満了により、平成十四年九月二十三日付で再選され就任した学校法人神奈川大学大野泰理理事長(昭和二十三年工経卒)から、これまでの再開発事業計画の推移と財政状況、大学を取り巻く厳しい教育環境の現実等について詳細に話があり、ハード面の整備はほぼ完了し、これからはソフト面の充実であると卒業生へ理解と支援を要請された。

続いて、神奈川大学山火正則学長から

学生のクラブ活動の状況、今後に予定される法科大学院(ロースクール)の開設等、神奈川大学の現況について報告がありました。日頃の全国の支部、卒業生の協力、支援に感謝の意を表された。

最後に後援会鈴木正太郎会長から、後援会主催の父母懇談会へ、各支部から協力を頂いている事への謝辞が述べられた。

このあと、在学生のクラブ、カレッジサウンズオーケストラによる演奏会、そして新二号館八階での懇親会と続き、本年度の支部長会議は盛会裡に終了した。



モニュメント“永遠”の前にて

第八回 神奈川大学 ホームカミングデー開催される

去る十月二十日(日)横浜キャンパス体育館において「第八回神奈川大学ホームカミングデー」が開催されました。

母校と卒業生の絆を深め、旧師や朋友との語らいを通じてヒューマンネットワークを広げていただくことを目的として、学校法人神奈川大学と宮陵会の協賛により平成六年から始まったこの催しも八回目となりました。今年には再開発事業により装いも新たに生まれ変わったキャンパスを一目見ようという方が多く、これまでで最も多い約六百五十名の参加を得て盛大に開催されました。今回は、卒業後五十年以上(昭和二十七年三月以前)、三十五年(昭和四十二年三月)、二十年(昭和五十七年三月)、十年(平成四年三月)、一年(平成十四年三月)の校友を中心に案内いたしました。その他の卒業年の方々の参加も多く、会場は熱気につ



つまれ大いに賑わいました。

ホームカミングデーが十月の恒例行事として定着するに伴い、これを機会にゼミナールや研究室などの集まりが大学の教室を使用して開催されるようになったり、泊りがけで旧交を温めたりという光景も見受けられ、まさにヒューマンネットワークの広がり大きな役割をはたす、貴重な催しとして定着してきたといえるのではないでしょう。

当日の式典は、卒業生であるテレビ山梨のキヤスター大西かやさんの司会により進められ、学校法人神奈川大学大野泰理事長からの歓迎のあいさつ、神奈川大学山火正則学長から大学の現況と学生の活躍についての報告の後、昭和二十七年三月二部短大機械科卒業の松代肇氏から参加者を代表して謝辞が述べられました。鏡開きに続き渡

辺徳平会長の発声により乾杯が行われ、ウエルカムパーティーでは歓談の輪が広がる中、吹奏楽部による大河ドラマ「利家とまつ」のテーマソングなどの歓迎演奏や、NPO法人「横浜都筑太鼓」による勇壮で伝統的な和太鼓の演技、毎年恒例の抽選会、応援指導部による校歌・応援歌、チャリデー

本部だより

新支部紹介

社団法人宮陵会小池ゼミナール六池会支部

支部長 大井 勝幾(56経)

連絡先 〒238-0114 三浦市初声町和田

電話 ○四六八-八八一-三七一四 二六四〇

支部名称変更
ユニシアジエックス支部

日立ユニシアオートモティブ支部

新支部長紹介
神奈川大学内校友会支部

支部長 田上 繁(51経修)

連絡先 〒233-0001 横浜市港南区

電話 ○四五-八四一-一三〇八 九

伯耆支部

支部長 谷本 正紀(42法)

連絡先 〒683-0003 米子市皆生

電話 ○八五九-三三一-〇三三六 五七六〇

日本鋼管支部

支部長 工藤 重治(28経)

連絡先 〒221-0863 横浜市神奈川区

電話 ○四五-三八三-二二〇五 一

三洋みやも会

支部長 小田嶋 彰(49法)

連絡先 〒241-0021 横浜市旭区鶴ヶ峰本町

電話 ○四五-九五二-一九二八 八

三十路会支部

支部長 佐藤 泰(30法)

連絡先 〒221-0801 横浜市神奈川区神大寺

電話 ○四五-四九一-三三三八 一五

箱根支部

支部長 永峯 暉夫(30経)

ングの演技などが披露され、会場は大いに盛り上がりました。
ホームカミングデーは毎年十月第三日曜日に開催することとなっています。来年も今年を更に上回る大勢の方々がキャンパスに足を運んでいただけるよう、心からお待ちしています。

連絡先 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 二二四六

電話 ○四六〇-四-八三三四

日立ユニシアオートモティブ支部

支部長 白川 善一(49電)

連絡先 〒243-0039 厚木市温水西

電話 ○四六-二四八-二二九八 一九

みやも電華会支部

支部長 吉川 鹿雄(20電)

連絡先 〒581-0013 八尾市山本町南

電話 ○七二九-九八-三五五八 一八

*ご結婚おめでとう
次の方から結婚の通知がありました。

14・11・24 堀 敏成 様
(平10・建) 神奈川大学総務課

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

小泉 公史 殿 14・9・20

元外国語学部 教授

内形 晃 殿 14・9・12

代議員・元組織委員長(41電)

西澤 萬里 殿 14・7・8

代議員(16・12電)

鈴木 英次 殿 14・7・27

代議員(25経)

木全 成子 殿 14・8・20

代議員・元婦人部委員長(31貿)

訂正
宮陵会報74号
訃報7頁「玉野 清は「平野 清」の誤りでした。訂正してお詫言申し上げます。

第50回全日本吹奏楽コンクール金賞受賞！ 東京ディズニーランド ミュージック・フェスティバル出演



11月2日、大阪国際会議場にて第50回全日本吹奏楽コンクールが行われ、各地区の代表12大学が出場しました。神奈川大学吹奏楽部は、課題曲 『吹奏楽のためのラメント』(作曲：高昌帥)と、自由曲「バレエ音楽 『中国の不思議な役人』より」(作曲：バルトーク、編曲：小澤俊朗)を演奏し、前回は引続き金賞を受賞しました。

また、11月10日には東京ディズニーランドにおいてミュージック・フェスティバル・プログラムに参加し、パレードルートを通り、シンデレラ城の前で『ディズニーメドレー』などをドリル演奏しました。

なお、年明けに開催される「第38回定期演奏会」では、コンクールで演奏した自由曲が演奏される予定になっています。

♪定期演奏会のお知らせ♪

二〇〇三年一月五日(日)

十三時三十分開演

(十二時四十五分開場)

東京芸術劇場大ホールにて

〈チケット等の問合せ先〉

〇四五―四八一―二九八九

(吹奏楽部部室直通)



女子サッカー部 1部リーグ昇格

去る11月23日(土)、体育会女子サッカー部が関東大学女子サッカーリーグ・一部昇格をかけて東京学芸大学(今期一部8位)との入替え戦に挑んだ。前半は終始押し気味に試合を進めたものの、1-1で終了。後半は、怒涛の攻撃を見せる神大イレブンに東京学芸大ディフェンスが耐え切れず、神大が6連続得点。7-1の圧倒的強さで一部昇格を果たした。創部2年目とはいえ、U・19日本代表選手など有力選手を抱える女子サッカー部(湘南ひらつかキャンパスを中心に活動)。今後も多に期待できそうだ。

第14回出雲全日本大学選抜駅伝準優勝 第34回全日本大学駅伝対校選手権大会12位 第27回よこすかシーサイドマラソン上位を独占

10月14日、大学三大駅伝の幕開けである出雲駅伝(44km・6区間)が、秋晴れの空の下開催された。1区6位で襷を繋ぐと、2区下里選手が区間新記録でトップに立ち、その後は一位での襷渡しが続いた。最終区6区で山梨学院大学にかわされたものの、第2位でゴールし準優勝を果たした。

続く11月3日には、伊勢路をかけめぐる全日本大学駅伝が106.8km・8区間で競われた。各選手の健闘にもかかわらず、12位という結果で終わった。

しかし、箱根駅伝に向けてのステップレースともなる、よこすかシーサイドマラソンが11月23日悪天候の中で行われ、20km陸連公認コースで、下里選手の第1位を筆頭に10位までの中に9人が入る好結果を残した。箱根駅伝へ向けて着々と調整が進んでいる様子。箱根駅伝ではきっと巻き返してくれるであろう。皆様の熱い応援をお願いいたします。



第14回 出雲駅伝

**神大
駅伝サイト
充実！**

(<http://ekiden.kanagawa-u.ac.jp>)

駅伝チーム情報満載で話題のホームページがますます充実しました。来たる1月2・3日の箱根駅伝当日は昨年に引き続き、神大選手の情報をお届けします。お楽しみに。

神奈川大学野球秋季リーグ戦3位

加藤大輔投手 オリックス・ブルーウェーブ入団決定!!



2002年神奈川大学野球秋季リーグ戦において、神大硬式野球部は三位という結果に終わりました。苦しみながらも第五週で勝ち点4を獲得、首位をキープしていたものの、リーグ最終週に宿敵関東学院大に連敗。結果、勝率差で、勝ち点で並んだ関東学院大、横浜商科大に次ぐ順位でした。実力的には決して他のチーム

に引けをとらない優勝を望めるチームであっただけに、打線がいまひとつ奮わなかったのが残念です。

一方、すでにニュースなどでご存知のことと思いますが、加藤大輔投手(九州国際大附属高校出身)のオリックスブルーウェーブへの入団が決定いたしました。ダイスケイヤーとよばれた今年のドラフト候補選手の中にあつて、MAX150kmを超える速球はプロ球団からも注目の的でした。来年は石毛監督のもと、『西のダイスケ』はきっと活躍してくれるものと思います。



左: 吉本監督、右: 増田さん

今春、東日本学生リーグ戦において一部昇格を果たしたレスリング部に、全日本学生チャンピオンが誕生した。

レスリング部 学生チャンピオン誕生 全日本大学グレコローマスタイル選手権大会 84kg級優勝 増田 和広(経営学部2年)

十月十六・十七日東京・駒沢体育館で二十五大学が参加して行なわれた、全日本大学グレコローマ選手権において八十四kg級の増田和広さん(経営学部2年)が優勝、本学レスリング部史上初の快挙となった。

【本人のコメント】私自身、高校(群馬館林高)時代を含めて初タイトルということで最高の気分です。また、部としても初の全日本チャンピオンということで、三重の喜びです。この結果は、監督やレスリング部員、卒業された先輩方と今まで一緒に頑張ってきた結果であると思います。しかし、まだまだ課題は

たくさん、この結果に奢ることの無いよう今後も努力していきたいです。

【監督コメント】彼は、今まで実力を持ちながらも結果を残せなかった選手。高校時代は全国大会三位にも入ったことのない選手である。昨年の同大会で四位に入った頃からメキメキと力をつけてきた。真面目に練習に取り組む姿勢がこの結果に繋がったと思う。この結果をバネに更に上を目指して欲しい。

今年(創部五十周年、東日本大学リーグ戦でも一部昇格、そして初の全日本学生チャンピオンを出す)ことができ、レスリング部にとって記念する年となった。

レスリング部は更なる飛躍を目指して努力していきます、皆様の応援よろしくお願いたします。

神大フェスタ

神大フェスタが、十一月三・四日の二日間横浜キャンパスで開催された。当日は天候にも恵まれ、一万人を超える参加があつた。今年度は、メインステージの中心に、様々な企画が催された。

毎年恒例になったフリーマーケットや、飲食店、模擬店には、学生の団体だけでなく、地域の方々の参加もあり、より華やかなものとなった。

また今年度は、ポランティアサークル「GORGAN☆EYES☆DEAR」が、使



いかけの文房具や楽器等を収集し、海外へ寄付をしたり、ケナ

フを使つての紙すきや、染色体験などの新しい企画もあった。特にケナフを使った紙すき体験は、小学生に大変好評だった。今年の神大フェスタは、「コンタクト」というテーマの通り、学生だけでなく、教職員、地域の方など、多くの人とのふれあいを大切にしたいイベントとなった。

平塚祭



去る、十月二十六・二十七日、平塚祭が開催された。肌寒い曇り空の下、何とか持ちこたえた天気の中、二日で延べ二千五百名以上の来客を集めた。呼び物は初日のテツ・ア

ンド・トモ。恒例となりつつある野外お笑いライブは予想できない天候のため屋内の食堂(厚生棟一階)に会場を変更し、約五百人の観客を詰め込んだ。会場に収まりきれない客が、建物の外からわざわざ開かれた窓に群がる光景を作り出すほどであった。このテツ・アンド・トモ(今、知る人ぞ知る本格的歌唱力を持つお笑い二人コンビ。赤と青のジャージを纏い、ギター奏で所せましと歌い踊り駆け回る)は、二〇〇二年秋、全国の大学祭招待芸能人No.1として特に注目を集めた。六十分に及ぶお笑いライブは湘南ひらつかキャンパスに同行した某テレビ局の取材により十一月某日、全国に向け放映された。

投稿

鳥人間 コンテスト出場

大空を飛びたい

航空工学研究部
工学部機械工学科4年

春山 幸生



航空工学研究部では、去年に引き続き今年も「鳥人間コンテスト」に出場することができました。読売テレビ放送株式会社主催の鳥人間コンテストは毎夏、琵琶湖で開催される大会です。このコンテストには、滑空機部門、人力飛行機部門、人力ヘリコプター部門の三部門があり、航空工学研究部が参加したのは、去年同様、人力ヘリコプター部門でした。この部門は他部門のようにプラットフォームからの飛行距離を競うのではなく、滞空時間を競

います。10mの高さのプラットフォームから飛び立ち、着水までの時間を競うのですが、力不足のため浮かび上がる機体を作れない私達は、いかにゆっくり着水するかを目標に機体を製作しました。人力ヘリコプター部門は、二十kgまでの浮力、例えばヘリウムガスのバルーンを取り付けてもいいことになっていきます。実際、去年と今年の優勝チームはヘリウムガスのバルーンを取り付けていました。しかし、航空工学研究部ではバルーンに頼ることなく、人の力だけで浮かび上がらせることを目標に設計・製作を進めました。

今年は一二年目ということでも少要領がわかっていたのですが、部員不足のため苦労が絶えませんでした。また、部費だけで機体を作るのは金銭的にきびしく、大学からの援助金や先輩方からの援助でどうにか製作することができました。そうして完成した機体は、胴体の前後にプロペラのあるタンデム式で、自衛隊のヘリのような姿でした。また、胴体は木材で作られ、プロペラの骨には高速回転に耐えられるカーボンパイプを使用しました。しかし、製作の進行具合が遅かったため、予定していた駆動系などの実験があまりできませんでした。そのため、本番では高速回転をさせることができず、滞空時間一・二秒、八センチメートル中五位という記録でした。今年の最大の目標は、きちんとした機体を作り上げ、記録を残すことだったのですが、思っていたようにプロペラを高速回転させることができれば、もっと長い滞空時間になっていたと思います。

ところで、今年使用したカーボンパイプですが、工学部機械工学科の赤澤教授の紹介で、日鉄コンポジットという姫路の会社まで行って自分たちで作ってきたものです。カーボンパイプは値段が高いのですが、自作により、安く済ませることができました。また、製作した機体が大きいため四つトラックで運ぶ必要がありましたが、誰も運転したことがあり

ませんでした。そこで、国土館大学に運んでもらうことになり大変助かりました。この他にも大学の先生方や、工作室の先生方に助けていただくなど、多くの人たちに支えられて機体製作や輸送などを行うことができました。また、機体設計・製作には、斉藤先輩を始めとする航空工学研究部の先輩方のアドバイスをいただくことができました。すべてのアドバイスを生かすことはできませんでしたが、来年からの機体設計に役立てていきたいと考えています。そして、支えてくださる多くの人たちに応えるためにも、今年より良い記録を目指して、来年もまた頑張りたいと思います。

外国人留学生、 富士山へ行く!

現在、神奈川県には中国、韓国、台湾、タイ、マレーシア、英国などからの外国人留学生が二百五十名以上在籍している。彼らは留学生入学試験を受験し、四年間神奈川県立大学において勉学に励む。ほぼ全ての学部で留学生は在籍し、日本人学生へのいい刺激にもなっている。

正規の留学生のほかに短期でも留学生を受け入れている。例えば交流協定校であり、また、湘南ひらつかキャンパスのある平塚市と姉妹都市であるローレンス市にあるカンザス大学(米国)からは毎年二十名程度が約一カ月間、湘南ひらつかキャンパスをメイン会場として日本語と日本社会について学んでいる。

留学生への取り組みとしていくつか国際交流センター主催で行っている。例えば、一年次を対象として、チューター制度を設け、日本人の学生(または留学生の先輩学生)を新入生数名に対し一名ずつチューターとして担当してもらい、学修に関する様々な疑問、学

生生活に関する事、あるいは日本語に関する悩み相談などに行っている。
その他、国際交流センターの取り組みの一つとして、去る十一月九日(土)、毎年恒例の留学生親睦研修旅行が行われた。各国の留学生および日本人学生、また、国際交流センター等教職員が参加し、総勢約九十名が交流を深めた。
当日は朝から快晴、河口湖、富士山五合目を目指す車中、早い時点で富士山を一望でき、バスの中では皆、写真撮影に夢中となった。紅葉がきれいな河口湖の湖畔にある体験工房では、吹きガラスやポトルアートなどオリジナル作品を作りながら交流を深めた。その他、車中では出身地などひとりひとり自己紹介を行い、お互いを知り合う場となった。私の知り合った参加留学生を留学生の一例としてご紹介する。
神奈川県立大学へ入学するまでの経緯を話してもらった。中国吉林省出身で、中学・高校と日本語を学んだ後、京都にある日本語学校で約一年間日本語を学んだ。本人によると、京都に来たばかりのころは日本語がまるで聞き取れなかったというが、それから約一年半経過した現在、全く不自由さを感じさせない。
この奮進の進歩はやはり本国で日本語を勉強していたからか? (だとすると日本人も)。
家庭語(母語)はハングルという本人は日本語を話すことで、東アジアの中ではどこでも会話できるという。さらに神奈川県立大学へ入学し、この四月から、生まれてはじめての英語学習に着手している。
以上のように日本人(日本の学生)にとっても非常に良い刺激となる学生が留学生の中には多数いる。このような交流の場を通してこうした学生に是非とも知り合い、良い影響を受け、今度は自分が世界へと目を向け、自分へと目を向けていけたらと願う。
(平塚教務課 西原 聖織)

「岸本光造氏を偲ぶ」



本年一月、岸本光造氏が急逝された。まだ六十一歳、突然の若すぎる死でした。神大出身の唯一人の衆議院議員でした。志半ばで政治活動を病魔から逃れられず断念したことは、誠に無念であったであらうと思います。ここに、心からご冥福を祈る次第です。和歌山県支部深山幹事長の要望により、ここに岸本氏の遺稿となつてしまつた「学生時代の思い出」を掲載します。
(専務理事 武笠健次)

「政治活動の基礎は

学生生活にあり。」

岸本光造

支部のお世話をいただいている深山大兄(昭和38年買卒)から、学生時代の思い出など書いて「きんぎょ」に投稿してもらいたい、との話。すぐ思い出せることは余り「勉強」しなかつたことぐらいか。

たしか入学したのは一九五九年だったと思う。当時の世の中は市電がまだ六角橋まで来ていた時代で、六〇年安保の前年でした。

私は高校時代に新聞部にいたものですが、入学と同時に新聞学会に入部して大学新聞の編集に参加しました。二〇日に一回ぐらいの割合で大学新聞を発行するわけです。編集会議をして特集などの方針を出す。記事を書いたり、原稿を先生方に依頼をする。広告を集める。割り付けをする。写真を入れたり力コトミなどでかっこをつける。入稿する。つまり当時神奈川新聞社へ行って印刷をお願いする。グラがあがると校正。二、三回の校正で出来上り。配布と集金。これが私の学生生活の主な部分であつたと思つた。

ただ先輩にめぐまれて「岩波新書、何でもいから一日一冊、読み切れ」とハツパをか

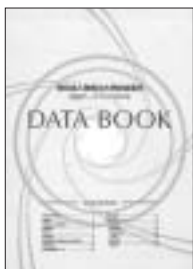
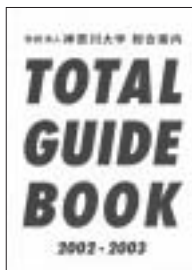
けられ、次から次へと読みとばしたことが今になってはとも役に立っているように思う。当時、新聞学会は四回生が多かつたが、一回生の私たちが大きな顔をして部活のご真中にいました。先輩たちは就職活動もあつてほとんどの責任が私たちにありました。私の場

合一回生で学生会長にされ、おまけに全国の大学新聞の連盟、全日本学生新聞連盟(略称全学新)の書記長にされ、全国オルグなどとして各大学をまわりました。ときあたかも「六〇年安保闘争」のとき。問題点は二つあつたと思つた。一つは日米安保は軍事同盟で日本が戦争にまきこまれるという考え。もう一つは改定の手法が反民主主義的であるという主張。時の流れとともに軍事同盟というより民主主義を守れるのかが国民的な声となつて、「六〇年安保闘争」は一大運動に発展しました。

この状況を分析して学生新聞には何ができるか。どう変革するのか。行動はどうするのか。などなど朝から晩まで毎日毎日、激論が続きました。平和と民主主義、自由と人権なども論議の対象で、政治のピーカーに入れられて混ぜら

れているような日々でした。ビラの配布もやりましたし、デモも組織しました。オマワリさんにニラマレたこともありません。私は山田操先生のゼミに所属していました。山田先生のゼミは自由な空気に満ちていて研究も発言も自由でした。そんな環境の下で卒論は「部落解放」をテーマに百枚余り書きました。優をいただいたことがうれしくて今でも心の宝にしています。私の学生時代は壮大な政治の実験場であつたと思います。民主主義も人権も、また平和や自由もそれらの延長線上で、今の政治活動(衆議院議員)をしている私です。私は自民党所属の衆議院議員ですが学生時代にその基礎ができたと神大での自由な学生生活に感謝している次第です。

「学校法人 神奈川大学 総合案内」完成!



神奈川大学の教育事業および研究活動を広報する新たな媒体として、一般社会に向けた「学校法人神奈川大学総合案内」が発行されました。これは高等学校、官公庁、求人企業、取引企業、外部研究団体、その他一般的利用を目的に編集されたもので、受験情報誌の「神大百科」とともに、本学の取り組みと現状について広く社会に理解を深めてもらうために活用されるものです。本編および資料編の二冊で構成されています。ご覧になりたい方は、広報課にお問い合わせください。

地域に根ざした法曹養成 ロースクール構想でシンポジウム!

二〇〇四年度に法科大学院(ロースクール)開設を計画している神奈川大学では、その準備の一環として「身近な司法改革と法科大学院」をテーマとした公開シンポジウムを十一月四日に横浜キャンパスで行つた。吉本徹也横浜地方裁判所長や池田忠正横浜弁護士会長のほか、教職員、学生など一四〇人の参加があり、法学部萩原金美特任教授や横浜弁護士会所属の間部俊明弁護士、法調講演、法科大学院設置作業を進める法学部矢口俊昭教授、法学部柴田直子専任講師の報告に耳を傾けた。また、シンポジウムに先立って二十三号館法廷教室では、法学部中山幸二教授とゼミ生による模擬裁判も行われ、緊迫感に満ちた法廷の様子が再現された。

神奈川大学では、「地域に根ざしたきめ細かい法律実務を担い、市民とともに地域の発展に資する法曹を養成する法科大学院の設置」を構想し、カリキュラムの策定などの本格的な準備を進めている。

カリフォルニアから…南加支部設立に向けて

幹事 津田 英樹 (昭和58年 経済学科卒業)

宮陵会より依頼頂き近況報告をさせて頂くことになりました。大学同窓会へ支部設置を申請しておりませんが、二十名の登録の下、宮陵会南加支部を組織しております。

二〇〇一年十月四日に発足したばかりの同窓会です。そのきっかけは、私の仕事上の友人から、現在会長をお願いしております島さんを御紹介頂き訪ねた事から始まります。このLA地区は他校の同窓会活動も活発で、年に一度『大学同窓会対抗ゴルフ大会』が開催されます。二〇〇一年、神大もお誘い頂きましたが三名のみの参加で、五名からの団体戦に参加できなかった事から、二〇〇二年大会の為に卒業生を捜そうという事になりました。

地元のラジオ、雑誌等に広告を出しましたところ六十五年卒の大先輩、九十二年の卒業生などから御連絡を頂き、また御紹介などにより今日に至っております。カリフォルニアと一言で申しましてもとても広く、全員が一同に会する事はまだ実現出来ず、またLA近郊在住者中心となってしまう点が残念ですが、今年のゴルフ大会には七名が参加、十七校中十位という成績を修めることが出来ました。この大会に備えた練習と称し、またはそれぞれ誘い合つてのゴルフコンペの開催、その後の食事会等を通し親睦を深め、またその時の様子を写真で会員の方へ御報告致しております。



〈連絡先〉津田英樹
1011 Harbor Village Dr. #E
Harbor City, CA90710
(310)326-6781/coro-mimi@sbcglobal.net

アと一言で申しましてもとても広く、全員が一同に会する事はまだ実現出来ず、またLA近郊在住者中心となってしまう点が残念ですが、今年のゴルフ大会には七名が参加、十七校中十位という成績を修めることが出来ました。この大会に備えた練習と称し、またはそれぞれ誘い合つてのゴルフコンペの開催、その後の食事会等を通し親睦を深め、またその時の様子を写真で会員の方へ御報告致しております。

神大の歴史 (17)

『商経法論叢』から

『神奈川法学』、『商経論叢』へ

『商経法論叢』は、横浜専門学校時代の一九三八(昭和十三年)十二月に横浜専門学校商経法学会によって創刊された。発刊の辞は、林頼三郎校長が執筆。創刊号は中山伊知郎や上原専祿などといった当時の有力な非常勤講師が主力となつて刊行されたが、その後、次第に横浜専門学校若手の専任教員が中心となり、以後戦時中の一九四二(昭和十七)年十二月の第五号まで毎年一冊ずつ刊行する。しかし、翌年から戦局の悪化によつて『商経法論叢』は、刊行中断を余儀なくされた。戦後は商経法学会の活動は停滞していたが、一九四九(昭和二十四)年一月の横浜専門学校創立二十周年の時に商経法学会が中心となつて全学を挙げて『創立二十周年記念論文集』

まいの方、御自分で御商売をしておられる方など様々です。親睦会におきましては、このような方々の経験、体験など、また米国以外の国でも生活されていた方の話などから学ぶ事が多く、とても有意義な時間を過ごしております。

前述のゴルフ大会参加から横へも広がり始め、今後このLA支部をどの様に発展させるかですが、*we are* を作成し多くの方々に私どもを知つて頂きたいと考えたり、LAに生活する事で母校にお役に立てる事がいかなど模索しておりますが、まずはこの会の存続を維持することが第一です。

どうかこの記事をお読みになつた方でカリフォルニア在住の卒業生を御存知の方、また御赴任予定の方、私どもへお知らせ下さい。今後の神奈川大学の発展を祈念致しまして御報告を締めくくりといたします。今後とも宜しくお願ひ致します。

を刊行する。そして、一九四九(昭和二十四)年四月には新制神奈川大学の誕生に伴い神奈川大学商経法学会が新たに組織され、翌一九五〇(昭和二十五)年一月に神奈川大学商経法学会の機関紙として待望の『商経法論叢』が復刊された。復刊された『商経法論叢』は、萩山健吉や斉藤武雄、梶村祐直らの専任教員が中心となつて執筆した。創設時の商経法学会の会員は学生たちの任意加入制をとつており運営は厳しかったが、一九五〇(昭和二十五)年五月の第一部学生自治会及び第一部学友会の後援による商経法学会の学術講演会の開催、同年九月の第二部学友会の企画による『商経法学会支援懇談会』の開催など学生たちの支援を受けながら活動を行った。そして、翌一九五一(昭和二十六)年度から商経法学会の会員は全学生の加入制となり、以後『商経法論叢』は、一九六五(昭和四十)年二月の第十五巻四号まで刊行された。



1938(昭和13)年12月創刊の『商経法論叢』

学部、経済学部に分離・独立に伴い商経法学会も法学会と経済学会とに分離・独立し、学会の機関紙『商経法論叢』も『神奈川法学』と『商経論叢』に分離・独立する。その後、一九六五(昭和四十)年七月に『商経論叢』が、同年十一月に『神奈川法学』が創刊され、これが今日まで継続して刊行されているのである。この二つの雑誌はいずれも一九三八(昭和十三年)年に創刊された『商経法論叢』を起点とするものである。(S)

スポーツ振興賛助金

平成14年3月1日より9月30日までの申込金556,603円を神奈川大学へ11月22日に執行しました。各クラブの金額は下表のとおりです。なお、寄付者芳名は会誌に掲載します。

クラブ名	件数	金額	クラブ名	件数	金額
陸上競技	37	294,103	バドミントン	1	10,000
硬式野球	7	29,000	山岳	2	120,000
軟式野球	1	3,000	バレーボール	1	30,000
応援指導	1	10,000	男子バスケットボール	2	12,000
柔道	2	12,500	ゴルフ	1	10,000
硬式庭球	1	5,000	吹奏楽	1	5,000
水泳	1	3,000	マンダリンアンサンブル	1	5,000
テコンドー	1	3,000	写真研究部	1	5,000
			合計	61件	556,603

*スポーツ振興賛助金は、常時受付しております。会員の皆様のご協力をお願いいたします。